

第4次静岡市市民活動促進基本計画(案)に関する市民ワークショップ 「市民活動ってなんだっけ?～みんなで考えてみませんか～」

基本情報

目的	<ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の対話を通じて、市民活動への興味関心や理解を深める。 第4次静岡市市民活動促進基本計画の策定にあたり市民の皆さんの意見を反映させる 	
開催日時	令和4年12月10日(土) 9:30~11:30	令和4年12月18日(日) 9:30~11:30
会場	番町市民活動センター (葵区一番町50)	清水市民活動センター (清水区港町2-1-1 2F)
参加人数	12名	12名



テーマ及び意見

グループワークを通じ、3つのテーマで参加者の皆さんからご意見をいただきました！

①第4次静岡市市民活動促進基本計画の説明を聞いてどう感じた？

- 新型コロナウイルスが市民活動に与えた影響を改めて実感した。
- 施策の柱1が「知らせる」から「触れる」になったのが良い。
- 市民活動が抽象的でイメージがしにくい。
- 仕事や部活動等で市民活動に関わる時間をつくりにくい。
- 市として第3次計画の実現はどうだったのか。
- 評価の方法として、数値で表せない部分もある。
- 施策の柱4「つながる・変わる」の協働への理解をどう進めていくか。

…etc

②市民活動ってどんなイメージ？

- ゴミ拾い等の清掃活動。
- やってる人が立派に見え、自分は気が引ける
- あまりお金がかからない。
- 年配の方が多い。
- まじめと楽しみのミックス！
- 同じ考えを持った人が集まっている。
- 現状を変え、課題に向かう。
- 最初参加するときはハードルが高い…
- 普段関わりのない方と交流ができる。
- 動き出すというんな人と出会えておもしろい。
- 市民活動団体の集まりに行ったらいろいろ言われそう…
- やりたいことがやれる。
- フットワークが軽い

…etc

③市民活動をさらに活発にするためになにが必要？

- 「ここからネット」をもっと身近に
- 子供でも意見が言える環境づくり
- ターゲット層を明確に分けて、それに応じた宣伝
- 他の団体と協力したい
- 教育機関との連携
- 学校などで学生に対しての働きかけ
- 団体同士がつながり合う場所の提供。
- 行き詰ったときに相談できる場所を身近に。
- 「ここからネット」やSNSをもっと活用。
- 行政職員とざっくばらんに話す機会
- コーディネーターの予算化
- 活動している人とこれからの人との情報交換の場
- 生涯学習施設等、横の連携
- NPOの成功例や具体的なアクション事例の紹介

…etc

意見等を計画に反映した箇所

ワークショップでの意見・提案	キーワード	反映の内容（下線部分を追記）
<ul style="list-style-type: none"> ○ターゲット層を明確に分けて、それに応じた宣伝 ○「<u>ここからネット</u>」や<u>SNS</u>をもっと活用 ○情報の発信、提供 ⇒<u>ここからネット</u>もっと活用⇒<u>SNS</u>の活用 	<p>情報発信 (伝え方)</p>	<p>施策の柱 1</p> <p><u>(1) 市民への情報の広がり</u>の支援 <u>届けたい相手に応じた内容や手法によって</u>、行政が積極的に情報を発信することはもちろん、市民活動団体や市民が、お互いに情報を出し合い、社会全体へ伝えることができるような環境づくりに取り組みます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○学校などで<u>学生に対してのはたらきかけ</u> ○<u>教育機関</u>との連携 ○子供でも意見が言える環境づくり ○<u>若者</u>つながり 学校⇄行政の勉強会 	<p>学校との連携 子ども・若者</p>	<p>施策の柱 1</p> <p><u>(2) 市民活動を身近に感じられる機会の創出</u> 情報だけではなく実際に体験し、交流し、楽しむことができる場、市民活動に対する興味・関心を醸成する場、シチズンシップを育むための学びの場、行政や市民活動団体等との対話の場といった機会の創出に取り組みます。 <u>また、取組にあたっては、学校と連携を図る等、子ども・若者へのアプローチを積極的に進めていきます。</u></p>
<ul style="list-style-type: none"> ○行き詰ったときに<u>相談できる場所を身近に</u> ○<u>コーディネーター</u>の予算化 ○イベント等で活動の紹介→<u>団体同士のつながり</u> ○活動している人との<u>出会いの場、機会</u> ○組織運営の<u>フォロー</u> 	<p>活動のサポート</p>	<p>施策の柱 2</p> <p><u>(2) 市民活動の立ち上げを支える仕組みづくり</u> 動き出した結果、新たな関心や問題意識をもち、自らが主体となって活動を立ち上げたいというケースも生じてきます。仲間づくりのための機会や場所の提供、<u>助言や他の団体とのコーディネート等、活動に当たり必要なサポート</u>に取り組みます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○<u>他の団体と協力</u>したい ○NPO<u>成功例</u>、<u>具体的なアクション事例</u>の紹介 ○<u>ふるさと納税NPO</u>分配※のもっとPR <p>※ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業</p>	<p>団体間の活動への協力 情報共有</p>	<p>施策の柱 3</p> <p><u>(1) 自立した市民活動が互いに支え合える仕組みづくり</u> 行政だけでなく、市民同士が相互にその活動や環境を支えていくため、<u>市民活動の具体的事例等</u>の情報の蓄積と活用や、寄附やボランティア等といった様々な形での支え合いがしやすい環境づくりに取り組みます。</p>

Q1. 今回の市民ワークショップを 何で知りましたか？

広報紙「しずおか気分」	1
市ホームページ	2
ここからネット	1
知人からの紹介	2
SNS	2
チラシ	6
メールマガジン	6
その他	7

Q2. 今回の市民ワークショップに ついては、満足しましたか？

満足している	15
ある程度満足している	7
あまり満足していない	0
満足していない	0

Q3. ファシリテーターの進行は どうでしたか？

わかりやすい	18
ある程度わかりやすい	3
あまりわかりやすくない	0
わかりにくい	0

主な理由(抜粋)

- ・色々な世代、環境にいる方たちの意見を聞き、自分の考えをまとめるきっかけにもなった。
- ・実際に活動している方と話すことができて面白かった。
- ・市民活動について知れて、興味を持てた。
- ・グループごとに分かれており、意見の共有がしやすかった。

主な理由(抜粋)

- ・手順や目的を始めに説明してもらえたので何をすべきかがわかりやすかった。
- ・グループ会話中に助言を下さったり、例を挙げてくれたため分かりやすかった。
- ・時間の配分がちょうど良い。
- ・常に中立的で安心して自分の意見を言えた。

Q4. 市民ワークショップに対するご意見・ご感想をお聞かせください。(抜粋)

- ・学生等の若い方の意見がとても良かった。
- ・市民活動について知識はなかったんですが新たに知ることができた。
- ・「できる時にできることを」というのがわかると市民活動が身近に感じられると思った。
- ・自分にはなにができるか考えてみようと思った。
- ・市民活動を知らない人にもっと来てもらえるような広報の工夫が必要だと感じた。

(表)

あなたの意見がまちを変える！？

市民活動ってなんだっけ？

～みんなで考えてみませんか～

第4次静岡市市民活動促進基本計画（案）R5・R12
に関するワークショップ

既に活動している人
これから活動してみたい人
集まれ！ 10～20代も大歓迎！

みんなの意見を計画に！

- ・活動はしたことないけど、まちをよくしたい！
- ・8年後(2030年)までにこんな活動がしたい！
- ・これがあったら活動しやすい！

みなさんのご参加をお待ちしています！

など、なんでもOK！みなさんの想いを応援します！

【当日の流れ】

①計画について説明します
市民自治推進課 職員

②まずはひとりで考えてみよう
未来のイメージを考えよう！

③最後にみんなで話し合おう
より良くするためには？

12月10日(土) 9:30～11:30
@番町市民活動センター 25人

12月18日(日) 9:30～11:30
@清水市民活動センター 20人

■主催 静岡市市民自治推進課 ■共催 番町市民活動センター 清水市民活動センター

(裏)

皆さまのご参加をお待ちしております！

【ファシリテーター】

みなさんの意見をまちづくりに活かしましょう！

プロフィール

2006年に静岡市主催の人材育成講座「地域しごとの学校」を受講。デザイン会社にて中山間地域などのまちづくり事業に携わる。

2014年から一般社団法人マテテラス製作所・代表理事として市民活動支援やまちづくり関連事業の企画、運営に携わる。

2015年から裾野市市民活動センターのセンター長を務める。

ふかのひろし
深野 裕士 氏
一般社団法人マテテラス製作所 代表理事

【開催の目的】

「市民活動」というと、「高い使命感をもった人々が社会課題の解決に向けて取り組んでいくもの」というイメージがあるかもしれませんが。

もちろん、そうした活動も非常に重要ですが、市民活動は、行政や企業、家庭等と一緒に人びとの生活を支え、豊かにしていくための重要な営みのひとつであり、一人ひとりの生活に密接に関係しています。

8年後、こうした市民活動が自然に、生活の一部として溶け込んでいる社会を目指し、計画を策定します。

皆さんもこのワークショップに参加して意見を計画に反映させてみませんか？

静岡市の未来と一緒に考えていきましょう！

定員になり次第、募集を締め切ります。参加費無料

申込み
右のQRコードか下記電話までご連絡ください。
静岡市役所 市民局 市民自治推進課 市民協働促進係
TEL：054-221-1372

